

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りかな

/5

四 熟語の構成

/5

五 部首

/4

六 対義語

/5

七 書き取り

/14

合計

/49

合格のめやす

35問(7割)

一

線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① へやを清潔にする。

② 学校の規則をまもる。

③ 三時におやつをたべる。

④ かぜで学校を欠席した。

⑤ 漢字の訓読みをおぼえる。

⑥ ねる前に昔話を読んでもらう。

⑦ 児童かで本をよむ。

⑧ 医師になるゆめがある。

⑨ ここはちゅう車禁止だ。

二

次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

⑩ そのことばに、みんな名案だと言った。

⑪ 川の岸で小さな花を見つけた。

⑫ 公園の中央に大きな木がある。

① 愛

画

② 制

画

③ 災

画

④ 眼

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① このお茶はあつい。

② とおくから音がきこえる。

③ もうすぐ夏休みがはじまる。

④ いすからたつ。

⑤ 期待にこたえる。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「ゝを」「ゝに」にあたるもの(れい 読書)

① 貸借

② 寄付

③ 防火

④ 旧友

⑤ 良心

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ

(にんべん)

休
む

シ

(さんずい)

①

えき
体

②

えん
じる

オ

(てへん)

③

ぎ
術

④

まね
く

六

反対の意味のことばを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「ちよくせつ さいしよ ていか ぞうか せんそう」

①

向上
⇄

②

間接
⇄

③

最後
⇄

④

平和
⇄

⑤

減少
⇄

七

——線のことばを、漢字で書きましよう。

① れきしを学ぶ。

② じぶんの力でしようめいする。

③ きんいろのメダルをもらった。

④ きようはいいてんきです。

⑤ ふゆになるとさむくなる。

⑥ とりが大きなねをひろげる。

⑦ よるにつきがでている。

⑧ あたたかいスープをのんだ。

⑨ くじびきでいっとうが当たった。

⑩ ゆうがたになると空が赤くなる。

⑪ ふとい木のみきにさわる。

⑫ 話のいみをりかいする。

⑬ 木の上でとりがないている。

⑭ 町でじけんがおきた。

